

株式会社西海建設へ感謝状を贈呈

市は10月6日、企業版ふるさと納税制度を通じて市へ寄付をいただいた、株式会社西海建設（寺澤孝憲代表取締役社長）に対し、感謝状を贈呈しました。

同制度は、地方公共団体が取り組む地方創生プロジェクトに賛同された企業から寄付を通じて応援をいただき、地方創生を図るものです。

寺澤社長は「企業版ふるさと納税による寄付は初めて。学校建設を通じて松浦市には縁があり、市の将来像である『学び育てるまちづくり』の役に立てていただければ」と話されました。寄付金は、市内小中学校および保育所等の読書環境整備などの取り組みに活用する予定です。



母校の発展のために

福岡県在住の眞弓豊さんは9月26日、母校である上志佐小学校を訪れ、佐藤利枝校長へ寄付を手渡されました。

昭和27年に上志佐小学校を卒業した眞弓さんは「今でも小学校時代のさまざまな思い出を鮮明に覚えています。子どもたちが豊かに育つためには、家庭、地域、学校が一体となって環境を整えることが大切です。ぜひ、子どもたちのために役立ててほしい」と話されました。

上志佐小学校は、寄付金を国語辞典購入費や学校図書^の充実のために活用する予定です。



松浦市サンクスマッチが開催されました

サッカー J2 V・ファーレン長崎は10月2日、トランスコスモススタジアム長崎（諫早市）で行われた京都サンガ F.C. 戦にて、「松浦市サンクスマッチ」を開催しました。

本市は、スタジアム正面に松浦市ブース（写真右）を出店し、揚げたてのアジフライをはじめ、市内の菓子組合がアジフライのロゴを刻印した最中やどら焼きを販売。多くの人たちが訪れ、キックオフ前に全ての商品が売り切れるほど大好評でした。

また、試合前の場内イベントでは友田市長と本市宣伝隊長の松浦松之介が登場。その後、チームが運営する YouTube ライブにも出演し、松浦市の魅力を発信しました。

試合は、^{まいくませい}毎熊晟矢選手（写真左）、植中朝日選手のゴールで2-0とV・ファーレン長崎が勝利。スタジアムも大いに盛り上がり、試合後にはマンオブザマッチに選出された毎熊選手へ、友田市長が松浦アジフライ1か月分を贈呈しました。



令和3年度 松浦市優秀工事表彰式

市は10月8日、優秀工事表彰式を行いました。

この表彰は、市が発注した建設工事のうち、優秀な工事を行った建設業者および担当技術者（主任技術者または監理技術者）を表彰するものです。

受賞者は下記のとおりです。（敬称略）

〈土木部門〉※写真右から掲載

○令和元年度 市道江口中谷ノ元線・旭橋線 歩道整備工事

施工者：松浦建設株式会社

代表取締役 上迫 秀人

現場技術者：松嶺 裕司（主任技術者）

○令和元年度 公共下水道事業 丹花2号雨水

ポンプ場新設工事（土木工事）

施工者：久建設株式会社

代表取締役 久田 弘文

現場技術者：山科 潤一郎（主任技術者）

○令和2年度 市道鷹島中学校線改良工事（1工区）

施工者：鷹島建設株式会社

代表取締役 椎山 栄輝

現場技術者：吉浦 伸一郎（監理技術者）



わたしたちの郷土

～文化財は地域の宝～

松浦市の文化財アンケートを実施します

—松浦市の歴史文化に関わるもので、大切に思う「もの」や「こと」を教えてください—

市は、今年度から「松浦市文化財保存活用地域計画」の策定に取り組んでいます。

当計画は、指定・登録文化財だけでなく、歴史文化に関わるもので、市民が大切に思う「もの」や「こと」を広く文化財と捉え、総合的に調査・把握し、所有者や民間団体に参画をいただきながら、教育・学習や観光振興、まちづくりなどに積極的に保存・活用していくことを目的に策定するものです。

アンケートは、計画作成の基礎資料となります。日々の生活の中で身近に感じ、『歴史文化を伝えていくために大切』に思う「もの」（古くから伝えられている仏像など）や、『地域に残る伝統的な活動』などの「こと」（ジャンガラ、浮立、踊り、講など）全てを対象とします。

皆さんの身の回りにある「もの」、「こと」について、どのようなことでも結構です。情報提供にご協力下さい。



問合せ先 文化財課文化財係 ☎内線 356